



「小江戸川越防犯のまちづくり情報」
メール配信サービス実施中
kawagoe.bouhan@mpme.jp
*登録を希望する方は、空メールを送信してください。

小江戸川越防犯けいはつ隊（広報協力員による活動）

「広報川越」は毎月二回、二百人ほどの広報協力員が配付しています。

そこで広報協力員にも協力をお願いして、市内全域にわたる防犯普及・啓発活動を行うことにしました。昨年三月から、広報を配付する際に、「みんなでつくる小江戸川越防犯のまち」地域防犯」と書かれた緑色の腕章を着用して、市民の皆さんへ防犯意識の啓発を行っています。地域における防犯推進の一翼を担い、防犯の目があることをPRし、犯罪を未然に防止する地域環境づくりを進めています。



広報協力員はこれから、市民の皆さんに広報川越をお配りしながら、「安全・安心の心配り」を続けていきます。

問い合わせ：広報室広報担当・TEL内線3521

人権教育シリーズ

児童・生徒の人権作文①

生涯学習課人権教育担当・TEL内線2846

このシリーズでは、一月二十六日にメルトで開催された、平成十八年度川越市人権教育実践報告会で発表した、小・中学生の人権作文を紹介しします。

友だちっていいな

芳野小学校二年

わたしは、一年生のとき、てつぼうがにが手でした。さか上がりや、ぶたの丸やきが、できませんでした。（どうすればできるようになるかな。）といつも思っていました。

そんなとき、Aちゃんが休み時間、に、「いっしょにてつぼうやろう。」と声をかけてくれました。わたしは、

「できないから、やらない。」

と答えたら、Aちゃんが、「きつとできるから、いっしょにやろう。」

と、言ってくれました。わたしは、Aちゃんといっしょに、てつぼうのれんしゅうをしようと思いました。

てつぼうのところに行って、てつぼうのもち方や、足のかけ方を教えてもらいました。そうしたら、



ぶたの丸やきや、ほじょばんをつかつてのさか上がりができるようになりました。

Aちゃんは高いてつぼうでも、さか上がりや、ぶたの丸やきがらくできます。わたしは、（Aちゃんはすごいなあ。）と思いました。

できるようになってから、てつぼうがすきになりました。Aちゃんのことも、とてもすきになりました。今では、大のなかよしになりました。

わたしも、友だちがこまっていたら、Aちゃんみたいにたすけてあげたいとおもいます。

親子で選挙を考えよう④ 選挙管理委員会事務局・TEL内線3713

●選挙の3原則

公職選挙法には日本国憲法を受けて、次のとおり3つの原則があります。

- ①平等の原則…すべての国民は、差別なく、平等に選挙を行うことができる
- ②自由の原則…すべての国民は、自分の判断で自由に投票ができ、その秘密は守られる
- ③公正の原則…すべての国民の意思が正しく選挙に反映されるよう、法により公正に行われる

平等に選挙権が認められ、自由な投票を保障するために、公職選挙法で選挙手続きの方法や選挙の公正を確保するための制限・禁止などの規定を設けています。

8月26日(日)は、埼玉県知事選挙の投票日です。必ず投票に行きましょう。



平成十八年度川越市明い選挙啓発書道コンクール金賞作品

みんなの作文

私の家族

高階西小学校五年

筒井智菜津

私の家では、家族みんなで話するのが、大好きです。なぜかという、食事中やテレビを見ている時、いつでもにか話しているからです。

一番多い話題は、学校の出来事や、じゅくのこと、習い事のことです。学校でなにかいやなこと、悲しいことがあると、やさしくはげましてくれるお母さん。時にはとてもおこることもあるけど、私のことを自分のことだと思つて、いつしよになやみを解決することもあります。

時々、お母さんが、かぜをひいたり、仕事でおそくなつ



たりした時は自分達で料理してふたんをかけないよう工夫しています。

たまに、お兄さんとけんかをしてしまうこともあります。必ずどちらかがあやまります。でも、お兄さんからあやまる方が多いです。なぜかという、お兄さんはとてもやさしい人だからです。

あと、私のお父さんは、なんでも物事を急に決めてしまいます。でかける時も前日に言わないので、みんなびっくりしてしまいます。少し迷わくだけどもみんなとても楽しんでます。

私の家族は、はげまし合いつつ、お母さんもお父さんもお兄さんもとつてもやさしい家族です。

私は、こんなに良い家庭に生まれてこれで、お母さんやお父さんにとても感謝しています。

*ふりがなは広報室で付けました。

短歌

四元仰・選

ザリガニを夢中に釣れる幼等の小さき背を見守る笑顔
糧として買いし短歌の本なれば夏雲湧ける表紙なでたり
子が拭きし厨の壁のステンレス戸外の若葉曲りて光る
代掻きて田植終れば一斉に歓喜するごと蛙鳴き初む
水田に影を落して飛行船若葉の森にゆつたりと消ゆ

俳句

石川俊一・選

羅やしがらみ一つずつ捨てて
秩父路や一揆の寺の白つゝじ
著莪の花紫めくはあはれなり
手ではかる孫の袖丈浴衣縫う
小糠雨白き牡丹に降り止まず

川柳

小川正夫・選

マネキンにひと足早い秋を着せ
靴底を減らし苦勞の捜査員
ひぐらしが小江戸の寺をつつみ込み
定年後ひとそれぞれ道をゆく
舗装割り炎天に咲く草の意気

中村潤子(霞ヶ関北三丁目)
荒畑義雄(藤間)
貫井基伊子(霞ヶ関東二丁目)
和田ふみの(松江町二丁目)
田子廣子(松江町二丁目)
武島征一郎(今福)
我妻信子(砂)
齊藤誠之助(宮下町二丁目)
塚野信(酌場)
樽見義雄(石原町二丁目)

応募方法(10月掲載分は8月31日(金)必着)

●短歌部門=当季雑詠3首まで、俳句部門=当季雑詠2句まで、川柳部門=雑詠3句まで
●市内在住・未発表・創作のもの・かい書で明記・すべての漢字にふりがなを付ける・作品の返却なし・掲載時に選者が手を加える場合あり

●ハガキに部門・作品・住所・氏名(ふりがな)・年齢・電話番号を明記し、〒350-8601川越市役所広報室

おしゃべり倶楽部 220 植物あらかると

ヒマワリ



7月1日、昨年に続いて古谷地区の沼端作業受託集団の皆さんによって、ヒマワリの種がまかれました。場所は、伊佐沼の東側と、ことし加わった南側の農地。品種は夏りん蔵といい、1mほどの高さになります。取材したときの高さは、10cmから20cmでした。今月の中旬には花の見ごろを迎えるそうです。「多くの人たちに見てもらいたいですね」と同集団代表の新井栄二さん(67歳・古谷上)。昨年好評だった花の摘み取りを、8月18日(土)に予定しています。



伊藤重枝(古谷上)
押味立子(稲荷町)
竹嶋ミツ(下新河岸)
間仁田勇(小室)
望月富子(府川)